

学校づくり協力者会議研修会へ参加してきました。

去る6月5日(土)、四日市市文化会館にて市教育委員会主催の学校づくり協力者会議研修会が開催されました。きらら推進委員会のメンバーと地域の関係機関の皆さんを中心に10人が出席しました。この研修会は学校づくり協力者会議が始まった数年前から実施されているもので、コミュニティスクールはこの学校づくり協力者会議を一步前進させた形のものとなっています。内容は以下のとおりです。

1. 教育長あいさつ
2. 本市における開かれた学校づくりの推進について 教育委員会
 - ・ 学校づくり協力者会議 昨年度の取組状況
 - ・ 四日市市コミュニティスクールの概要と今後について
3. 公開インタビュー
 - ・ コミュニティスクールの運営にあたって
 - 水沢小学校コミュニティスクール運営協議会
 - 四郷小学校コミュニティスクール運営協議会
4. 講演会
「素人だから役に立つ学校関係者評価の進め方」



四日市大学総合政策学部教授 岩崎 恭典 先生

伴 浩人運営協議会委員長への公開インタビュー

(質問 1) 学校と地域がつながることで、よかったことは？

(伴委員長) 学校の門が少し開かれたと申しますか、入っていく糸口が開かれたように感じます。わたしたちは、学校と地域がコミュニケーションを図る橋渡し役としてこれからも努力していきたいです。

(質問 2) 昨年度の取組で、地区文化祭と学校公開を同じ日に行ってよかった点は？

(伴委員長) 巣箱作りですが、これは地域の大家さんに5年生の子どもたちが教えていただいた取組です。保護者ではあそこまでの物を作るところまでいかないと思います。

次に、地区文化祭には子どもたちの保護者ではない地域の皆様がたくさん来ていただきますが、そのたくさんの方々が、子どもたちの学習の様子や音楽の発表などを見ることができたことです。反対に、地区文化祭に小学生や保護者の方がたくさん参加していただいたこともよかったことだと思います。

そして、水沢はお茶どころとして有名ですが、水沢ならではの茶もみの体験も子どもたちにしてもらいました。

(質問 3) 水沢の地域団体の取組として、他にどんなことがありますか？

(伴委員長) わたしが4月に立ち上げました「子どもを見守る会」ですが、地域の方にご協力と呼びかけましたところ、十数名の方が参加していただけることになりました。青色回転灯も自費で購入していただき、水沢地区の子どもたちの安全安心のための取組として定着していけたらと考えています。

それと、いろいろな体験学習の取組があります。お茶つみや米づくりなどの農業体験を通して子どもたちのセンスを鍛えることが大切だと思います。

他にも、図書館ボランティアによる本の読み聞かせなども、子どもたちの心を育てる重要な取組の一つだと考えています。

小さなことから地域へ広がり、つながり合いへ

古紙回収と子ども配達員

古紙回収

取り組みの概要



◎児童が毎日1日分の新聞とチラシを学校へ持ってくる。

◎朝、教室で日直や当番の子が学級分を集めて「エコパック
ン」という収納庫に入れる。

◎月末に業者が回収する。

◎収益金はPTA会計（特別会計）に組み入れ、子どもたちの学習環境充実に関する用途とする。

設置場所は
渡り廊下です。

地域の方々も古紙の投入ができます！ご協力を！

(平日の8:00~17:00 新聞とチラシ, 牛乳パックのみ
綴じ紐なしでバラをお願いします。)

子ども配達員

取り組みの概要

◎ 児童が地域の方々へ学校からの手紙や配布物を持っていく。

◎ 地域の方々が児童とのつながりをもっていただくことでより学校や子どもたちを身近に感じていただく。

◎ 子どもたちが人と接する時の礼儀や適切なあいさつ, 言葉づかいを学ぶ機会となる。

◎ 子どもたちが安全に届けられる範囲で無理のない程度とする。

[配達先と配達物] 当面はきらら全員協議会のメンバー（地域の関係機関の代表など）へ全員協議会の開催通知や行事への招待状とする。

地域の方との出会いの場を！！

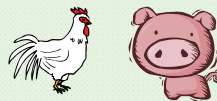
地域とともに その3



吉田光男さん(本町)
ヤマギシズム実頭地村人

1年

どうぶつとのふれあい



4年

桃の観察



ヤマギシズム内部川実頭地が徒歩で5分ほどのところにあり、本校では何年も前から実頭地の飼育動物や栽培、生産物に関する学習を教育活動に組み入れて交流を行っています。ここ数年は1年生がニワトリやブタとふれあったり、4年生は桃の栽培を継続的に観察したりしてきました。担当の吉田さんからも植物の生長や環境に関したことなどたくさんのお話を聞かせていただいています。また花の苗や堆肥などの提供もいただいています。